



プログラム名		ぼくのわたしのごちそうをつくろう									
対象年齢		年少（2歳）									
ねらい	メッセージ	浜はおもちゃ箱だということに気づこう									
	発見・体験できること	<ul style="list-style-type: none"> ・自然物の感触 ・見たてあそび（造形）を楽しむ ・波の力 									
参加者のめやす		幼児		20人		/		支援者		7人	
実施時間		20分									
フィールド											
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園				
実施可能時期											
自然を感じるためのヒント											
時間		活動				配慮・アドバイス アレンジ					
5分		興味をもった物を集める				一人ひとりの様子から、その子の思いに寄り添い共感します。					
10分		見立てあそび ・食べ物に見立てる ・ごちそうづくり				<p>支援者がモデルを示し、子どもがやりたいなと思える気持ちを引き出します。</p> <p>食べ物に見立てる子どもの姿を捉え、他の子どもたちに投げかけます。</p> <p>一人ひとりの見立てを感じ取り、認めていきましょう。</p>					
						 <p>おおきなおにぎりとキャベツと魚とたまごとハンバーグできました。</p>					

時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
5分	<p>・ごちそうを食べる</p> <p>波打ち際にごちそうを持っていき、琵琶湖の生きものに分ける</p>	 <p>一人ひとりの満足度を把握しつつ、今までのあそびの中で出会った生きものたちに分けることを投げかけます。 子どもたちが琵琶湖に入っていないように気をつけます。</p> 
<p>【異年齢への対応】 年中：「きれいな色のごちそう」など工夫できるような課題を決めて、ごちそう作りをしましょう。 年長：グループで協力して、ごちそうを作りましょう。</p>		
<p>【園や家庭に帰ってから】 園や家庭にある自然物を使って、ごちそう作りをしましょう。 おうちの人といっしょに実際にごちそうを作ってみましょう。</p>		
準備物・教材等		

